

## 服飾デザイン科3年 校外研修へ行ってきました

【期 日】4月19日(火)

【目 的】見学を通して、学科の特色と地場産業を理解するとともに、専門科目の学習に対する関心を高め、積極的に取り組む意欲と自主性を養う。

### 艶清興業株式会社

「よい色に染め、よい風合いに仕上、よい着心地の生地を作る。」にこだわった、染色整理加工工場を、丁寧な説明と仕上がりの違いを実際に触れさせていただくことで、その技術の高さを実感することができました。



### テキスタイル・マテリアルセンター

収蔵数10万点以上。国内最多の素材サンプルの常設展示を、時間が許す限り見学しました。卒業研究作品発表会のデザイン発想や製作に参考になりそうな生地があるかという視点も持ちながら見学しました。



### 葛利毛織工業株式会社

ウールを中心に風合いにこだわり、100年以上前から使用しているジョンヘル織機を使用し、世界・国内からの注文に応えている毛織の工程を見学しました。



### 木玉毛織株式会社

老舗の織物工場と綿を紡ぐ「がら紡」の見学をしました。オーガニックコットンを中心につむぎ、そこから織物を製作し商品化している工程を学ぶことができました。



### 【感想】

- ・繊維から糸へ、糸から布へ、布を加工し商品になるまでの流れを目で見て確認し学ぶことができました。それぞれの企業の方の説明で共通していた言葉が「風合い」でした。このこだわりが尾州産地の強みであると強く感じました。
- ・授業で学んでいたが、実際ジョンヘル織機を見て、織り上がった布を見て尾州の強みがわかったような気がしました。200年前の布の再現やエナメルや塗装をイメージした光沢の表現など、古い物と新しい物を作ろうとされていて、世界に認められている理由もわかったように思いました。
- ・伝統や技術のある日本の製品を生かさなければならぬという言葉聞いて、素材や服選びの価値観を自分の中で変えていきたいと思いました。